

2021年度通常公募 団体情報シート			
団体名	特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構	団体web サイトURL	http://f-npon.jp/
申請事業名	ともに生きる民間コミュニティの場整備事業	申請交付番号	21212
主題		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
副題	オンラインからオフラインへのウォーミングアッププレイスの拡充	申請事業の分類②	①-2 地域ブロック
		申請事業の分類③	関東ブロック(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、東京、山梨)
優先すべき社会の諸課題選択科目			
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動	領域②	2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①		分野②	
① 経済的困難など、家庭内に課題を抱える子どもの支援		④ 働くことが困難な人への支援	
② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援	
③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援			
領域③	3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	領域④	-
分野③		分野④	
⑥ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援			
申請事業概要			
<p>障がい者認定はされていない、いわゆるグレーゾーンの方に対する就労支援の団体（就労移行支援、就労継続支援事業を展開する福祉事業所を運営する団体を含む）で、新たにワカモノの働く場の創設・運営を計画している団体に対して、施設的环境整備支援と運営組織の基盤強化を実施する。</p> <p>特にグレーゾーンの方の属性を理解し、バーチャルでのオンライン交流の状態から現実社会でのオフライン交流の場へ引き出し、居場所として利用、次に就労体験（ウォーミングアップ）、そして継続的な就労という、就労までの段階的プロセスを実装できるコミュニティスペース（以下、ウォーミングアッププレイスと呼ぶ）を構想している団体を募集する。</p> <p>尚、運営組織の基盤強化にあたり、当方が開発した自己診断ツールを用いて組織の課題を抽出し、専門家による伴走支援を実施していく。</p> <p>また、ワカモノの孤立化・孤立化を改善するウォーミングアッププレイスの事業形態は多岐（屋内、屋外、複合）に渡ることが予想されるが、最終的な受益者である多様な社会的弱者の課題解決への中間支援機能（相談窓口等）を持つことを必須とし、社会全体の孤立化・孤立化の改善の副次的効果を狙う。</p>			

団体組織情報			
1	●設立・法人取得年月日		
	設立年月日		1998年12月1日
	法人格取得年月日		2001年3月1日
2	●団体概要		
	団体概要	<ul style="list-style-type: none"> ●NPO支援事業 <ul style="list-style-type: none"> -藤沢市民活動支援施設の管理運営 -ワカモノ/NPOインターンシッププログラム -組織基盤強化のためのセルフチェック及び伴走支援事業他 ●地域活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> -クラウドファンディング企画支援 -藤沢市民応援団 藤沢ビッグウェーブの運営 -藤沢市民まつり等市内イベントの企画運営 -農福連携マッチング等支援事業他 ●災害復興支援事業 <ul style="list-style-type: none"> -東日本大震災・熊本震災における災害復興団体への支援活動 -水害被災地における団体支援活動 	
3	●代表者情報		
	代表者名		手塚 明美
	代表者の役職		理事長
	代表者名 2		-
	代表者の役職 2		-
4	●役員		
	役員の数		31人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数		2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数		0人
5	●事務局職員		
	職員・従業員合計		21人
		以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期		13人
	常勤・有給・無期		0人
	常勤・無給(有期・無期)		0人
	非常勤・有給・有期		8人
	非常勤・有給・無期		0人
	非常勤・無給(有期・無期)		0人
6	●資金管理体制		
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること		はい
7	●区分経理・帳簿		
	1.必要な会計帳簿が備えられている		はい
	2.業務別に区分経理ができる体制である		はい
8	●監査		
	年間決算の監査を行っているか		①監事実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	総数 18団体 以下内訳。
2	前年度の助成総額 (円)	未記入
助成事業の実績内容		
3		<p>【組織の実績と成果】 2020年6月「NPOのためのウィズコロナ支援基金」を創設。資金の一部に、株式会社伊藤園との協働事業により、自動販売機の売り上げの一部を市民活動組織へ支援する仕組み「藤沢市地域活性化支援ベンダープロジェクト」による資金と市民からの寄付を充当。8団体 348,400円助成。 また、クラウドファンディングの事務局として、2015年度より31件の企画や進捗のサポートを行い、非達成が4件あるものの、獲得寄付合計額は2999万円となり、団体の資金調達の一助となっている。</p> <p>【理事長の実績】 公益財団法人かながわ生き生き市民基金の創設メンバーとして2013年より参画し、現在も理事及び選考委員長として活動を続けています。この間、メイン助成である「福祉助け合い基金」は15期までで、168団体5490万円の助成となっています。また、2020年に実施した「新型コロナウイルス対応緊急応援助成」は第4次まで実施し、延べ187団体1511万円の助成をした。 東日本大震災後の復興に関わる助成では、大和証券フェニックスプログラム、タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラムに審査員として協力した。 「中央ろうきん助成プログラム」では、神奈川県予備審査員として2013年度より協力し、新助成「若者助成制度」には助言者として参加させていただき、その後の助成にもかかわっている。 その他、行政主導の補助金は、藤沢市をはじめ、相模原市、横浜賀市、横浜市、綾瀬市、大和市、座間市、鎌倉市、平塚市、二宮町、藤市など各地の審査員を務め、2019年2020年は公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の助成に関する外部有識者としてのヒアリングもお受けした。</p> <p>【実績と成果で得られた知見の共有】 以上の実績は、すべて申請組織である藤沢市民活動推進機構のスタッフにケーススタディ的に情報共有し、審査選考委員の交代を図ることも積極的に進めている。 申請にあたり、これらすべての知見をスタッフへ引継ぎ、全力で取り組む所存。</p>

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり